

平成 26 年度

学校法人ゴスペル学園ゴスペル幼稚園 学校評価

〒901-0361 沖縄県糸満市糸満 1693-2

TEL 098-994-2145 FAX 098-994-2566

理事長 山内友子

宗教法人から学校法人に移行して2年。1年目は新体制に当幼稚園の職員一人一人が精進してまいりました。この度、学校法人に移行してからの振り返りとこれからの当幼稚園の発展の為、教職員自己評価を実施するに至りました。この評価結果を深く受け止め、更なるゴスペル幼稚園の教育活動、教育環境そして教職員の資質向上に努めてまいります。

《 教育目標 》

『子どもたち ひとりひとりが幼児期を精一杯生きることが出来る環境を』
園では「聞くこと」・「考えること」・「伝えること」が幼児教育の中で大切な事であると捉え、以下の3つの保育方針をもって保育に携わっていきたいと考えています。

《 保育方針 》

『良心を持って判断し、豊かな感受性を備える』

園児たちが体験を通して知識と教養を高め、豊かな心を培い健やかに自律の精神を養い、それぞれの個性を大切に捉える教育をします。

(1) キリスト教保育 神の愛を感じ、人を愛することを目標とした保育

キリスト教保育とは、神の前での良心教育を踏まえ「本当に大切なことは何か」を見分けられるように努める保育の事を意味し、「隣人愛」「希望」「信じる心」そして「愛を受け取る」ことを育てていきます。

(2) 自由保育 自由で温かい家庭的な環境での保育

それぞれの個性を尊重し、伸び伸びと自己表現が出来るようにしたいと考えています。

(3) 知識を経験として学ぶ保育 伝えること・考えること・善し悪しの判断が出来る

他者と関わることにより、他者を理解し、繋がりを大切にする。

自然に触れ、知ることで想像力と感受性を育てる。

1. 平成 26 年度主要目標

- ① 全職員、本園の教育目標・保育方針の達成に努める。
- ② 教職員の質の向上を目指し、研修等に参加し、幼児教育に反映させる。
- ③ 学校評価項目を精選し、今後の学校運営に反映させる。
- ④ 食育の一環として屋上で野菜の栽培をし、みんなで食べる。
- ⑤ 安全対策として最低毎月1回、防犯・火災・地震等の訓練を実施する。

2. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目Ⅰ 保育の計画性

- (達成) ゴスペル幼稚園全教職員が園の方針・各クラスの教育・保育内容を把握できている。
- (取組状況) 毎月2回行っている教師会で全教諭と園の方針や各クラスの保育内容等の発表・確認、そして意見を交換し保育の運営・把握に役立てている。

評価項目Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

- (達成) 教諭を中心とし全園児の登園から降園までの様子を観察し、園児一人一人に合った声掛けや保育を心掛けている。
- (取組状況) 他の園児の発達や成長を比べるのではなく、日々の中で園児一人一人の発達や成長を見、全教諭でその段階を共有している。

評価項目Ⅲ 教師としての資質や能力・良識・適性

- (達成) 全教諭が私立幼稚園連合会・キリスト教保育連盟主催の研修に参加した。
- (取組状況) 研修の周知は全教諭に伝え、参加してもらい、参加後、研修内容の提出をお願いしている。研修内容の提出により、参加出来なかった教諭にも研修内容を確認させ、教諭としての資質向上に努めている。

評価項目Ⅳ 保護者への対応

- (達成) 毎月のお知らせ等で園生活に必要な事柄を事前にお知らせし、行事を円滑に進めることができた。
- (取組状況) 行事毎にアンケートを実施し、保護者からの意見を受け止め、教師会などで報告をしている。

評価項目Ⅴ 地域の自然や社会とのかかわり

(達成) 近くにある老人ホームや学校などの交流を年間行事のなかに組み込んでいる。

(取組状況) 沖縄の伝統文化に関する行事は老人ホームの方々と交流をし、ハロウィン等の外国の行事はALTのいる高校へ行き、ALTの方が担当しているクラスに参加した。

評価項目Ⅵ 研修と研究

(達成) 全教諭がなんらかの研修に参加し、自己課題を見つけ、今後の教育・保育に活かせるよう目標を掲げている。

(取組状況) 研修参加後、研修内容のレポート提出を義務付けており、その内容を踏まえ、今後の教育・保育に活かせるよう園長に報告している。